

フォーラム (Forum)

『小児の口腔管理における最近のトピックス』

1. 口腔の発達とその診断

朝日大学歯学部助教授

田村 康夫先生

2. 代用糖とう蝕活動性試験はう蝕予防にどれだけ役立つか

大阪大学歯学部助教授

大嶋 隆先生

3. 小児歯科臨床における健康管理の実際について

福岡市・緒方小児歯科医院

緒方 克也先生

司会 高橋清一郎 小椋 正

医療はかつて疾病を対象とした延命の科学であった。しかし、今日人々が望んでいるのは、健康な者を疾病から防御し、健康をより増進して健全なる社会生活を送ることである。そこで好ましい健康を獲得し、それを維持増進するためには環境との対応を考慮しつつ、各個人が健康を維持増進するのに好ましい行動をとることが重要である。そのような意味では、歯科は最も健康サイドに近い医療の一つであるため、近年歯科に対する需要が急増したことでも社会の人々が健康を求めていることが解る。それゆえ、小児歯科の臨床は、口腔と関係する諸器官の成長発達中に起こる種々の疾病や異常を早期に発見し、もし狂いが生じたらそれらを正し、将来の健康な口腔を育てあげると同時に、これらの口腔の健康を通して小児の全身の健康に寄与しようとするものである。そのような健康小児の姿を把握するために、我々は疾病や異常の予防や治療を健康の保持増進と一元化したシステムにし、健康小児のチェックをするシステムが是非必要である。このような観点から、田村先生には小児の口腔機能の発達の診査方法と診断法を解説してもらい、将来展望までも含めて話していただくことにした。また、大嶋先生には口腔疾患の代表であるう蝕に焦点をしぼり、代用糖とう蝕活動性試験の解説をしていただき将来の可能性までも話していただくようお願いした。さらに、緒方先生には実際の臨床の場で、それらをどのように行っているかを話していただくつもりである。このようなフォーラムであるので、皆さんにふるって参加していただき、討論に加わっていただきたいと思いますと考えている。